

中部ものづくり道場設立に向けて協議する関係者



中部にももの作り道場

10.1.23 今秋、本格活動を開始

初の運営会議

地域で子どもたちに物作りや科学の楽しさを伝えることができる指導者を養成する「中部ものづくり道場」の設置に向けた、運営会議が20日、倉吉市駄経寺町の倉吉交流プラザで開かれた。今年夏にも道場を設立し、秋ごろから養成講座を開いて本格的に活動を始める。

鳥取大学が中心になって行政や教育機関、県内企業などが2008年7月に「ものづくり協力会議」(代表・土井康作鳥大地域学部教授)が創設を計画。昨年1月に鳥取、同7月には米子に道場を開設した。

ものづくり道場で

は、技能を持った職人や鳥取大学、企業などから講師を派遣し、子どもたちに接する機会が多い放課後子ども教室やNPO法人、公民館、PTAなどに技術や知識を伝える。また、地域でものづくり教室を開く際に必要な教材の貸し出しもする。

中部ものづくり運営会議には23人が出席。代表に同大学産学・地域連携推進機構の岡本尚機教授を選出。岡本代表は「中部は農業どころなので、中部らしい道場をつくりたい」とあいさつ。夏以降に創設フォーラムを開き、年2回養成講座を開くことにしている。

(石原美樹)